

平成 23 年 1 月 15 日
独立行政法人製品評価技術基盤機構

ガス消費機器設置工事監督者資格講習修了試験における問題の誤りについて

平成 22 年 11 月 9 日から 12 月 9 日に石川県、広島県及び兵庫県の 3 会場で実施したガス消費機器設置工事監督者資格講習修了試験において、出題した 1 問に誤りがあることが判明しました。当該会場において資格講習を受講された方々には、多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

この問題の誤りによる合否への影響を検証した結果、誤った記述に従って解答したものを正答としても、すべての受講者の判定結果に影響がないことが確認されました。

当機構としましては、今後このような問題の誤りが起こらぬよう、より慎重な試験問題作成に努め、作成された試験問題をより厳格にチェックする体制を確立し、再発防止に努力してまいります。

《試験問題に誤りがあった会場》

開催日	開催会場	受講者数
平成 22 年 11 月 9 日 (火) ～ 10 日 (水)	労済会館 (石川県)	20 名
平成 22 年 11 月 11 日 (木) ～ 12 日 (金)	カレントコスモ (広島県)	16 名
平成 22 年 12 月 8 日 (水) ～ 9 日 (木)	兵庫県民会館 (兵庫県)	33 名

《問題誤りの内容及び採点見直し方針》

別紙のとおり

(問い合わせ先)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

製品安全センター講習業務課 電話番号：03-3481-1935 (担当：岡野、祖父江)

e-mail：kosyu@nite.go.jp (フリーメールは受信できません。)

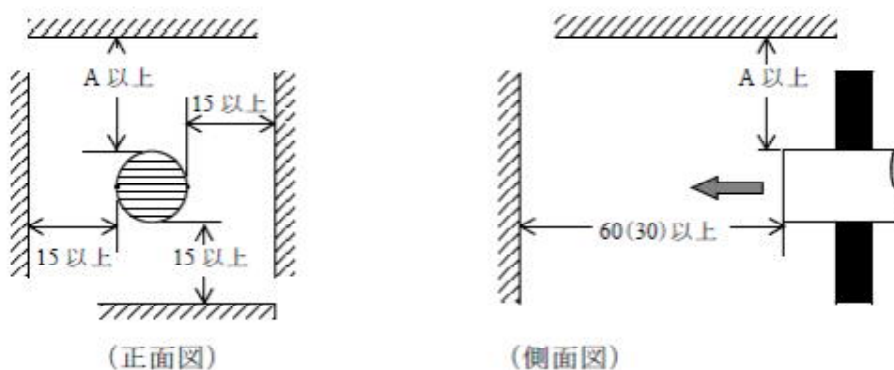
問題誤りの内容及び採点見直し方針

(問題誤りの内容)

試験問題 3-5 の図の下の説明文中、「水平一方向」とすべき箇所を、誤って「全周排気」と記述していました。(以下に赤字で示した箇所)

3-5. 次の図は、FF式ガス機器の給排気筒トップの水平一方向吹き出し口と「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」(この設問において以下「周囲」という。)との離隔距離を示すものである。図のAの部分の離隔距離を下に示す数値の中から最も適切なものを選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

イ、15 ロ、30 ハ、45 ニ、60(30)



水平一方向

全周排気吹き出し口と周囲との離隔距離 (cm)

(排気温度が 100℃を超え 260℃以下の場合)

※ () 内の数値は、防熱板を取り付けた場合の離隔距離

(採点見直し方針)

「水平一方向」の場合の離隔距離の正解は「30」となりますが、「全周排気」の場合は「60(30)」が正解となります。したがって、「60(30)」と解答された方も正解と判定します。